醫道御取締

救民急法

願面

武陽三島科

鈴木道運

F イ 89

Kitasato Memorial Medical Library

498.12
Ida

慶應義塾大学医学情報センター
昭和47年7月14日
富士川文庫
3183

No. 412

一

王政御一新ニ御時節
奉献献
御思召ヲ云々
皇国ノ

依テ恐惶謹言
御差支ノ為メ
御名代トシテ
御参向ノ事
医学所
一橋公
御名代

Kitasato Memorial Medical Library

一

Kitasato Memorial Medical Library

之和ニ論ス而シテ基ニ於テ
且又下人定病源ニ
出ス尓称宜ク法ニ依
毋縦ニ擅ニ施治ス而シテ
醫家法ニ於テハ之ヲ
法ニ醫道ニ於テハ
苦シム基ニ基ク
事ニ於テ
事ニ於テハ
一ケ国ニ
且亦右ノ
ニ家ニ一ケ国ニ
事ニ於テハ右

Kitasato Memorial Medical Library

一 御一新ニ大法ノ御施行ヲ蒙リ
廢藩ノ後ハ醫師ノ地位ヲ高メ
仁恵ヲ施業法ノ改良ヲ期シ
醫師ノ權利ヲ擴張スル事ハ
實ニ今日ノ急務ニシテ不
得已事ニ候ヘ共其ノ實ヲ擧ケ
醫ノ本分ヲ盡サント欲セハ
醫師ノ學識ヲ高メ
醫業ノ改良ヲ圖ラサル
可カラス

一 醫師ハ人ノ生命ヲ預ル
ノ職ニシテ其ノ責任ノ重キ
事ハ言ヲ俟タス故ニ
醫師ハ其ノ學術ヲ研究シ
其ノ技術ヲ練磨シ
以テ其ノ職務ヲ全フセサル
可カラス

一 醫師ハ其ノ業務ニ
關シ人ノ秘密ヲ知ル
ノ機會多キヲ以テ
其ノ秘密ヲ守ルノ義務
アリ

右奉願通

作并第壹通之願書

御審査願之上御免許

被遊下候樣仕度

生前之御厚志文前陳如

武蔵一ケ国三ケ所取

河鍋先生基礎ヲ立現形義

定仕度抽丹情願

御免許被遊下候樣仕度

前文申上ル通ニ候間

何卒御聞届

御免許被遊下候樣

奉願上候

以上

Kitasato Memorial Medical Library

新規御雇入被仰渡候節
之儀ニ候共右之通被仰渡候
諸芸能之儀ニ付而ハ
別而御雇入之節ハ
其芸能之儀ニ付
格別之御雇入ニ
候間
御家来
御雇入之節ハ
御家来
御雇入之節ハ
御家来
御雇入之節ハ

所未曾有ノ事ニ付テハ
勿体ナクモ
天皇陛下ニ於カセラレマシテハ
直ニ
勅裁ヲ以テ
被為在ルヘキ
ハ勿論ニ候ヘトモ
平常ノ
政務ニ於テハ
必ス
枢密顧問ノ諮詢ヲ
経テ
被為在ルヘキ
ハ
憲法ノ
精神ニ
有之候
又
緊急ノ
場合ニ於テ
枢密院ヲ
召集スルノ
遑アラサル
トキハ
枢密顧問ハ
其
責ニ任シ
内閣ニ
出席シテ
国務ヲ
議スルノ
義務アルヘキ
ハ
当然ノ
事ニ候
又
枢密院ノ
会議ハ
重要ノ
事件ヲ
議スルヲ
以テ
其
会議ニ
列スル
顧問官ハ
十二
人ヲ
以テ
定員ト
為シ
十一
人ヲ
以テ
会議ヲ
開クヘキ
ハ
憲法ノ
精神ニ
有之候
又
枢密院ノ
会議ハ
重要ノ
事件ヲ
議スルヲ
以テ
其
会議ニ
列スル
顧問官ハ
十二
人ヲ
以テ
定員ト
為シ
十一
人ヲ
以テ
会議ヲ
開クヘキ
ハ
憲法ノ
精神ニ
有之候
又
緊急ノ
場合ニ於テ
枢密院ヲ
召集スルノ
遑アラサル
トキハ
枢密顧問ハ
其
責ニ任シ
内閣ニ
出席シテ
国務ヲ
議スルノ
義務アルヘキ
ハ
当然ノ
事ニ

一

一

御養生所ニ而薬種ヲ製ス

御立場ニ而 水車二ヲ所

御免シ之有 作事

丹圓木自然

ニ而 粧製仕候 七ヲ所

ヲ命ジ 水戸橋際柳

知ヲ以 薬ヲ製ス

一

御養生所ニ而 作事

遊女養生所ニ而

御免ヲ以テ一ヶ所

浪宅第一飲食

傳深小兒驚

一

病者ヲ看病ス婦前後ヲ看ス病ヲ

Kitasato Memorial Medical Library

一 前後頭骨奉行ヨリ如何ニ可取計哉之事

御差圖ニ付而ハ

山形殿ヨリ御差圖ニ付而ハ

右之通ニ候間 御心得ニ

御達可申候 以上

十一月

Kitasato Memorial Medical Library

江戸在勤民鹿人上下
雖為公令手落之

Kitasato Memorial Medical Library